

10 月 24 日：否定的な見方が強まり、VN 指数は急落 (VN-Index - 1.06%)

- 慎重な投資家心理から市場流動性は低下し、VN 指数は基準値付近で取引を開始した。
- 前場、セクターごとの騰落率にバラつきが見られたなか、食品・飲料セクターが相場を下支えした。
- しかし、主要セクターである銀行や不動産が下落し、指数は低調だった。
- 後場に入ると不安色は一層強まり、指数は最終的に本日の最安値で引けた。
- 102 銘柄が上昇、284 銘柄が下落、52 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は取引終盤に増し、前日比 13.5%増の 15.9 兆ドンとなった。

VN30 指数は大きく下落 (VN-30 -1.49%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、6 銘柄が上昇、22 銘柄が下落、2 銘柄が変わらずであった。
- STB(-6.70%)、VHM(-6.70%)、VRE(-2.68%)、VIC(-2.66%)、TPB(-3.40%)など、大幅な下落銘柄が多かった。
- VNM (+1.63%)は唯一、目立った上昇をみせた。

セクター・個別株の動き

- EVG (-1.92%) は、経験不足が懸念され、新たに計画された 2 兆 4000 億ドン規模の住宅プロジェクトにおける開発業者リストから除外された。
- ACB (-1.57%) は、税引前利益 4 兆 8,440 億ドン（前年同期比 3.8%減）と、やや軟調な業績を発表した。同行の不良債権残高は前年同期比で 50%近く増加した。
- 外国人投資家は 2,350 億ドンを売り越した。HPG (0.00%) と VRE (-2.68%) が最も売り越された。一方、VPB (-2.20%)は買い越しトップだった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd. (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。